

設置概要

早稲田大学は、今村昌平、小栗康平をはじめとして映画・映像の制作者のみならず、映画史・映画美学の研究者や、日々更新される映像技術の研究者を多く輩出してきました。それは、「専門」の枠にとどまらずに、学術的な研究・教育と、実践的な知がたえず融合されるカリキュラムを学生たちが自主的に選択し、創作者や研究者としての道を切り開いてきたことに大きく依るものだと考えています。現在、映画・映像を専門とする教員は、様々な学部にも所属していますが、リベラル・アーツを掲げるGECにおいてこそ、複数の学問領域が相関的に織りなす、「総合芸術」としての映画・映像の世界を深く掘り下げることができると信じています。

教育の目標としては、①「何を表現するのか」、②「どのように表現するのか」、③「社会のなかでその表現が果たす役割とは何か」を主眼としたカリキュラムを展開していくことを計画しています。そのためには、学生自身が①映画映像に対する「見方」を創り、②創造行為をとおして、技術のみならず共同作業に必要な議論・交流を行い、③多様な価値観に直面しながら自ら決定することを重視します。副専攻のなかの領域・分野は、この3つの重点目標に対応するものといえます。

教育方法としては、まず、作品に多く触れることにより、様々な表現様式を学ぶと同時に知的好奇心を拓いていくことを目指します。そして、批評意識を育むために授業に対話形式を積極的に取り入れるほか、全学部生が集まる少人数形式の授業を基盤とすることで、他者を知り自らの思考を深めることを目指します。また、実践的な知識や技術を学び、変革期を迎えつつある産業や社会のなかで、映画・映像の果たす役割を検討するために、実務家による指導や受講者によるイベントの運営等を実施していきます。上記のような教育目標・教育方法を実現するために、学際的副専攻「映画・映像」では、別紙に記すような段階に応じたカリキュラムの流れを想定します。

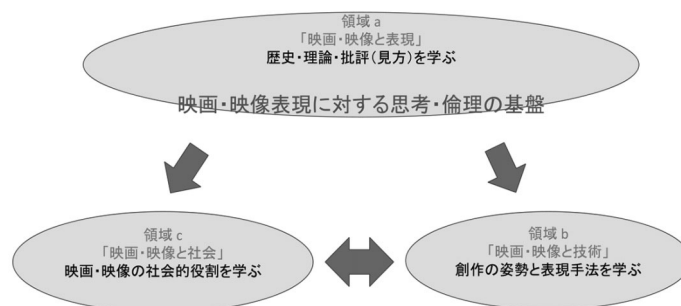
到達点（学習成果）

修了者が、批評眼を持って映画・映像と向き合うことが、到達点の根幹にあります。作品を語る言葉と思考を自ら持つことなしには、制作者、技術者、研究者へと進む道は、いずれも切り開かれなければならないからです。そのうえで、歴史・文化、表現手法、マネジメントに関する基本的かつ包括的な知識を修得し、多面的に映画・映像の世界を理解することができる人間を育成します。その意味においては、映画・映像に対する批評的な思考、制作する技術、完成したものを人に届けることのできるコミュニケーション能力が身につくことと考えています。

また、映画・映像の領域で活躍する社会人として、必要な知識・技術・姿勢を修得するばかりでなく、他の領域であっても、社会のなかで映像表現を介したコミュニケーションの豊かさや広がりの実現に寄与することのできるような力を養うことも目標=到達点です。

カリキュラムマップ

GEC 学際的副専攻 <映画・映像> 領域相關図



映画・映像 カリキュラムの流れ

| 映像の言語化 何を表現するのか | 表現手法 どのように表現するのか | 社会との関連性 表現の社会的な役割 |
|--|--------------------------------|----------------------------|
| 基礎 映像論1/映画作家論 | マスターズ・オブ・シネマ1、2 映画監督と学ぶ映像表現 | プロデュース概論 |
| 習熟 映画から学ぶ映像表現 映画ジャンル論(要検討) | 映像制作技術基礎 メディアエルゴノミクス | 奇想のテレビドキュメンタリー論 映像・芸術表現 |
| 実践 テレビ論 | 映像制作実習1、2 | 制作プロジェクト研究 |
| 研究・高度な実践 各大学院等のカリキュラムあるいは映画映像業界でキャリアデザイン | | |

指定科目一覧

修了必要単位

16単位（領域・分野a：6単位、領域・分野b：6単位、領域・分野c：4単位）以上

★領域・分野a 「映画・映像と表現」

修了必要単位：6単位

| No | 設置箇所 | 科目名 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 備考 |
|----|------|----------------|-------|------|------|----------|-------|----|----|
| 1 | 法学 | 映像論Ⅰ（谷） | 谷 昌親 | 1年以上 | 春学期 | 木4時限 | 早稲田 | 2 | |
| 2 | 文 | 映画作家論 | 藤井 仁子 | 2年以上 | 秋学期 | フルオンデマンド | 戸山 | 2 | |
| 3 | 文 | 映画ジャンル論 | 木原 圭翔 | 2年以上 | 秋学期 | 金2時限 | 戸山 | 2 | |
| 4 | 基幹 | 映画から学ぶ映像表現 | 土田 環 | 2年以上 | 春学期 | 月3-4 | 西早稲田 | 4 | |
| 5 | 基幹 | テレビ論 | 是枝 裕和 | 3年以上 | 春学期 | 火2-3 | 西早稲田 | 4 | |
| 6 | GEC | 映画監督と学ぶ映像表現 ※1 | 諏訪 敦彦 | 1年以上 | 夏季集中 | 無その他 | 早稲田 | 2 | |

※1 基幹・創造・先進理工学部生は、理工設置科目を受講してください。

★領域・分野b 「映画・映像と技術」

修了必要単位：6単位

| No | 設置箇所 | 科目名 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 備考 |
|----|------|--------------------------|---------|------|--------|------|-------|----|----|
| 1 | 基幹 | メディアエルゴノミクス | 河合 隆史 | 3年以上 | 春学期 | 水4時限 | 西早稲田 | 2 | |
| 2 | 基幹 | 映像制作実習Ⅰ | 是枝 裕和 他 | 3年以上 | 春学期 | 火6-7 | 西早稲田 | 4 | |
| 3 | 基幹 | 映像制作実習Ⅱ | 是枝 裕和 他 | 3年以上 | 秋学期 | 火6-7 | 西早稲田 | 4 | |
| 4 | GEC | 映画のすべて マスターズ・オブ・シネマ 1 ※1 | 土田 環 他 | 1年以上 | 春クォーター | 土4時限 | 早稲田 | 1 | |
| 5 | GEC | 映画のすべて マスターズ・オブ・シネマ 2 ※1 | 土田 環 他 | 1年以上 | 夏クォーター | 土4時限 | 早稲田 | 1 | |
| 6 | GEC | 映像制作技術基礎 | 元村 直樹 | 1年以上 | 春クォーター | 月3-4 | 早稲田 | 2 | |

※1 基幹・創造・先進理工学部生は、理工設置科目を受講してください。

★領域・分野c 「映画・映像と社会」

修了必要単位：4単位

| No | 設置箇所 | 科目名 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 備考 |
|----|------|--------------------|---------|------|--------|------|-------|----|----|
| 1 | 基幹 | 奇想のテレビドキュメンタリー論 | 長嶋 甲兵 | 2年以上 | 秋学期 | 木4-5 | 西早稲田 | 2 | |
| 2 | GEC | プロデュース概論 ※1 | 土田 環 他 | 1年以上 | 秋クォーター | 火2時限 | 早稲田 | 1 | |
| 3 | GEC | 映像・芸術表現 | 高橋 恭子 他 | 1年以上 | 夏季集中 | 無その他 | 早稲田 | 2 | |
| 4 | GEC | 制作プロジェクト研究 | 高橋 恭子 他 | 1年以上 | 春季集中 | 無その他 | 西早稲田 | 2 | |
| 5 | GEC | インターンシップ実習（個人申請-秋） | 松居 辰則 | 1年以上 | 秋学期 | 無その他 | 早稲田 | 2 | |
| 6 | GEC | インターンシップ実習（個人申請-春） | 松居 辰則 | 1年以上 | 春学期 | 無その他 | 早稲田 | 2 | |

※1 基幹・創造・先進理工学部生は、理工設置科目を受講してください。

履修を希望する学生へのメッセージ

まずは、映画映像に対する関心や好奇心を際限なく拡げていってください。そのなかで出会うさまざまなイメージや表現行為が、どのように私たちと関係を築き上げているのか自らにたえず問い続けてほしいと思います。「教員」と「学生」という一方的な関係のなかで基礎知識が「与えられる」のではなく、講義という出会いを通じて、世界のなかで他者と無数の線を引き続けられることが映画映像を学ぶためには必要です。